

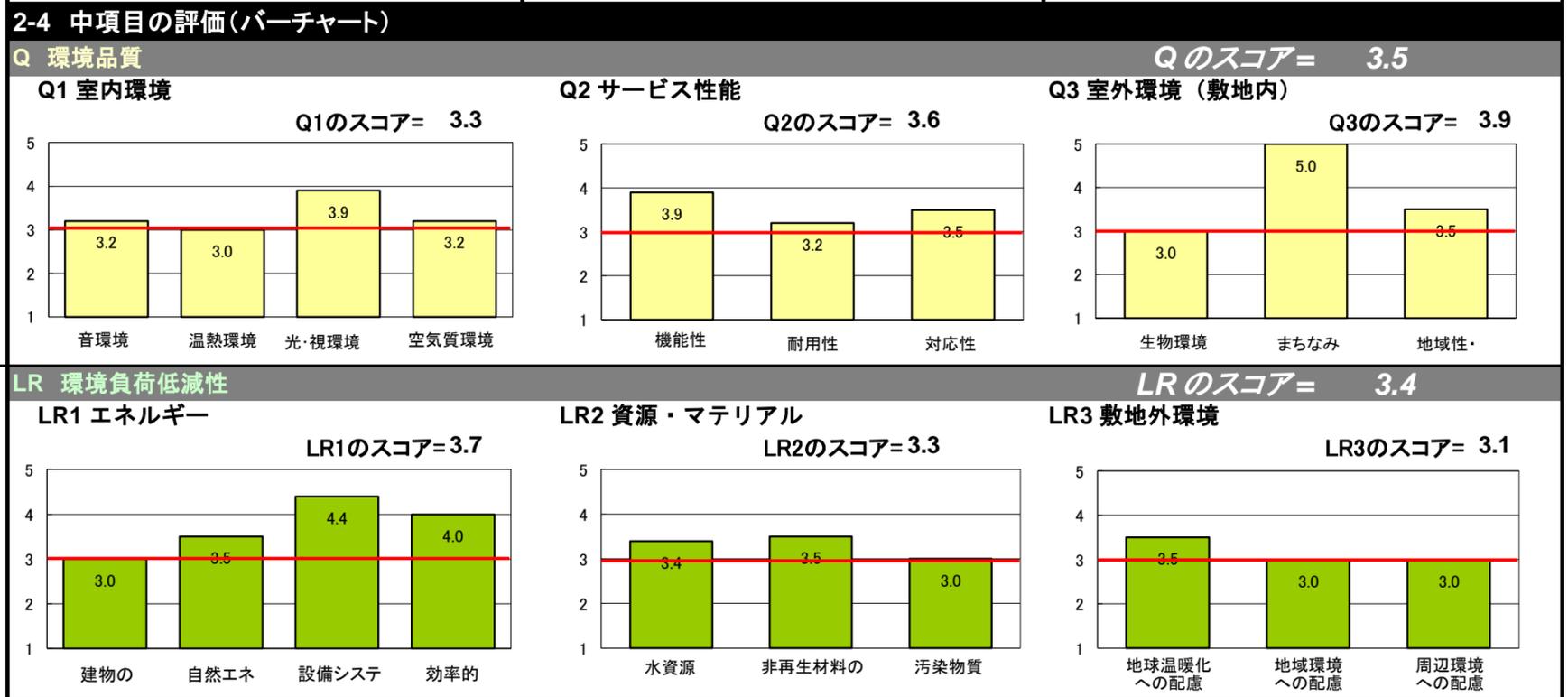
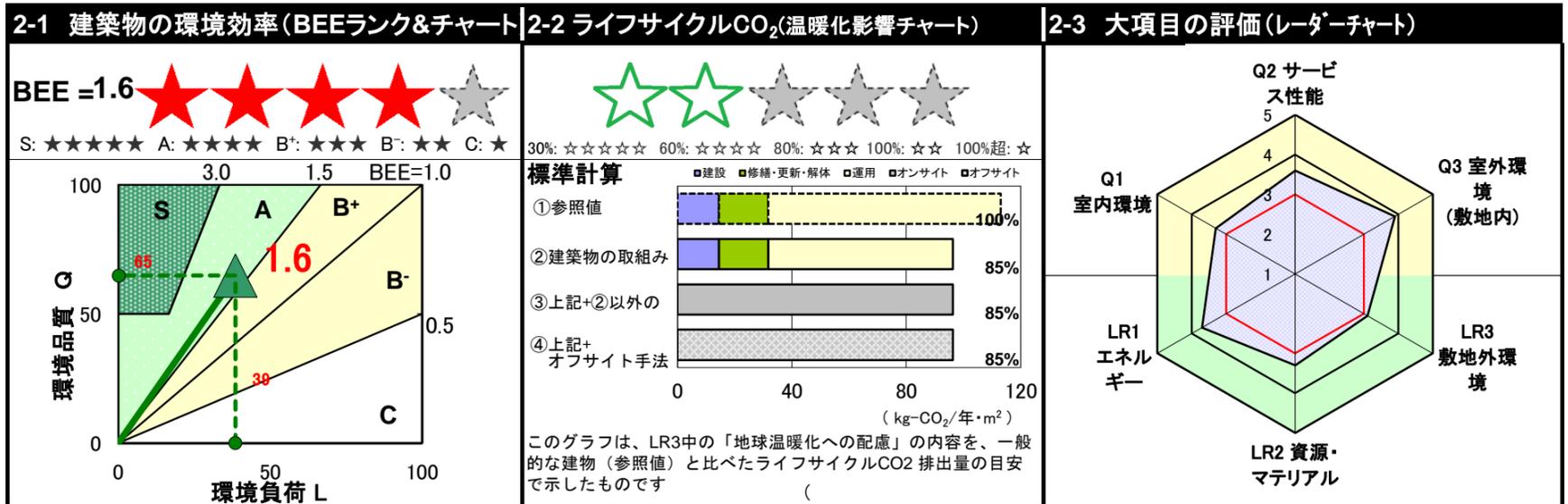
この評価ソフトは、改正省エネ基準の経過措置が終わる2015年3月までの経過措置で使用できます。

# CASBEE® 広島 (2010年ver. 1.8)

## 評価結果

■使用評価マニュアル：CASBEE広島 2013年追加版Ver.2 (BPI/BEI対応) ■ベース評価ソフト：CASBEE-NCb\_2010bpi&bei(v.2.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	広島経済大学(仮称)明德館	階数	地上10F
建設地	広島市安佐南区祇園5丁目37番1号	構造	SRC造
用途地域	第1種中高層住専、第1種低層住専	平均居住人員	500人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	40,000時間/年
建物用途	学校	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2016年8月 予定	評価の実施日	2014年10月11日
敷地面積	250,229 m <sup>2</sup>	作成者	日建設計
建築面積	1,863 m <sup>2</sup>	確認日	2014年10月11日
延床面積	11,423 m <sup>2</sup>	確認者	日建設計



### 3 広島市の重点項目

重点項目の総平均スコア = 3.5

「地球温暖化対策」の推進	「ヒートアイランド対策」の推進	「長寿命化対策」の推進
スコア = 3.6	スコア = 3.3	スコア = 3.2
<b>設計の計画上特段に配慮した事項</b> 外周に出の大きな庇を巡らせるとともに、Low-eガラスを採用し、日射負荷を熱負荷を抑制。/外周サッシは手で開放できる換気窓とし、階段室頂部に有圧扇を設け、自然換気を促す計画。主要室は横連窓として、自然採光により、照明負荷を低減する計画。/高効率機器を採用。/BEMSによるエネルギー使用量の見える化を図る。/井水の有効活用。スケルトンインフィルの考えを徹底し、設備機器は建築仕上から独立させて支持・設置。容易に更新が行える計画。/	<b>設計の計画上特段に配慮した事項</b> 既存地形・樹木・植栽を活かした計画。/十分な台数の駐車場を分散して配置。	<b>設計の計画上特段に配慮した事項</b> 設備配管・ダクトに耐久性の高い材料を採用。/リプレイススペースの確保等、設備機器の更新を考慮した計画。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される